

市議会議員の定数を定める条例

今回の一般選挙から、市議会議員の定数を24人とする条例案が議員発議により提案、可決、制定されました。

これまででは、合併前の3町の協議により、議員定数は26人となっていました。2人削減することになりました。

主な質疑

問 2人減とした理由は、**石田良雄** 他市の状況から見て、2人減では削減数が足りないと思うが、次期に対する足がかりとして、現職である我々が姿勢を示すという考えから2人の削減に至った。

問 特別委員会などを設けて議論すべきではないか。

加藤正 議会運営委員会

討論(要旨)

で、特別委員会の設置などを提案してきたが、時期尚早という意見が出て、決まらなかった。

【反対討論】

岩本一三 合併の住民説明会資料には、合併の効果として、議会議員の削減により10年間で6億円の効果があると明記されていた。2人減では市民との約束を果たせない。

議員削減は議会基本条例と併せて討議を尽くすべきであり、数の力によつて横暴な議会運営が執り行われると、身を切る改革はできない。

4人削減を定数条例に明記したいと思ひ、反対する。

野中幸夫 議会の役割は市民の声を届けること、市政をチエックすること、市民の苦しみの解決に働くことだと考えている。議員定数を必要以上に減

らすと、議会の役割が弱まってしまう。

東日本大震災のような大規模災害もこの地域で想定されており、災害のときこそ地方自治が試されるものであり、議員定数を減らすことは、こうした方向からもかけ離れるものであり、反対する。

八島進 これだけ大きな問題を、自派あるいは仲間間の議員だけで遂行するということは、民主主義への挑戦だと考える。

改革するならば、もつと大胆にするべきと考え、2名の削減に対しては反対する。

【賛成討論】

柏原功 議員定数について市民に意見を聞いたが、ほとんどの方が削減すべきという意見であった。近隣の市を見ても、あま市を取り巻く全ての市で定数を削減している。

あま市の議員のうち、17人が定数削減を約束して当選している。削減数にはいろいろな意見があるが、2人削減することで、市民の理解が得られると考え、賛成する。

花木敏行 何人の議員が妥当かという根拠はない反面、26人を維持しなければ、市民の負託に応えられないという根拠もない。

類似団体の議員1人当たりの有権者数は、あま市の議員定数を24人とした場合よりも多いが、これらの団体で民意が反映されていないとの意見や、

議会のチエック機能が働いていないとの声はないと聞いている。

今回の削減は、自らが厳しい選択をし、資質向上に努めれば、議員の役割を十二分に発揮でき、次のステップに進むことも可能と考え、賛成する。

伊藤嘉規 合併協議会の議員定数等検討委員会、また、特別職報酬等審議会において、議員自らの定数削減に期待する意見、削減を検討すべきという意見をいただいた。

決して満足な数字だと思っていないが、議員が率先して身を切る姿勢を示すことが必要との考えから2人削減するものであり、賛成する。

採決結果

賛成多数により、原案のとおり可決。